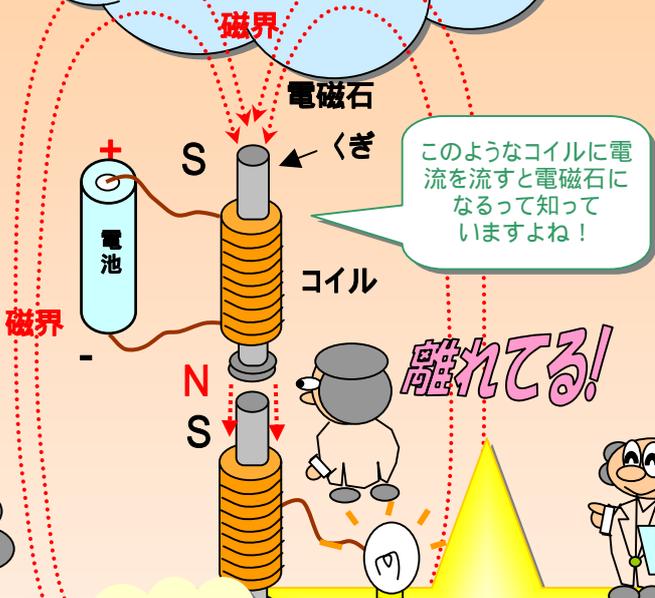


電磁誘導現象とは？

1831年に発見したのだ！
およそ170年ほど前だから
江戸時代末期の頃だ。
そう、そんなに大昔の
ことではないのじゃ！



ファラデーさん
(イギリス人)



んん！
なんと！



電池の入切時
のみランプがつく！！



これは磁石に電流！



発見して
よかったね！



大発見！！

電磁石の実験をしている時、このコイルの近くに別のコイルを置いていたところ、この電磁石コイルへの電源入切により、離れているにもかかわらずもうひとつのコイルにも電流が流れることを発見しました。

ファラデーさんは電線もつながっていないのにどうしてだろう？
きっと相手のコイルに何かを生じさせているに違いないと考えました。
ここから電磁誘導現象の解明を始めたのです。

この発見は電気工学にとって大変重要な発見で、これによって今日まで電気、電子の学問や工業が発展していくのです。そして電気で起こる大半の現象がこの電磁誘導現象なのです。

YS電子もここから
出発しています。



YSの社長さん
(日本人)

▶ 次のページ